

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

<p>施策1 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援</p> <p>目標・方向性（関連性）</p> <p>千葉県ゆかりの選手を一人でも多く輩出する</p> <p>ア ジュニア世代選抜選手や障害者スポーツ選手の競技力強化を推進（リンク C・D）</p> <p>イ 障害者競技組織の体制整備と障害者スポーツ選手の掘り起こしを推進（リンク B・C）</p>

令和元年度の主な施策（計画） 【最終予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<p>「東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業」 ＜オリンピック部分＞</p> <p>・特別強化支援 【85,000】 体育課 選手の指定 海外遠征 国際大会の視察 国内遠征 強化合宿 選手・チームの招聘 競技用具の整備 外部指導者活用 医・科学サポート</p> <p>＜パラリンピック部分＞</p> <p>・基礎強化支援 【1,020】 体育課 選手の指定 国際大会等の視察 競技用具の整備 選手・チームの招聘 外部指導者活用 合同練習会・合同合宿 障がい者スポーツ協会が特に認めた事業</p> <p>・特別強化支援 【13,980】 体育課 選手の指定 海外遠征 国際大会の視察 国内遠征 強化合宿 選手・チームの招聘 競技用具の整備 外部指導者活用 医・科学サポート 障がい者スポーツ協会が特に認めた事業</p> <p>・掘り起こし 【15,000】 障害者福祉推進課 競技団体が企画した競技体験会の実施</p>	<p>121人</p> <p>17競技 59事業</p> <p>実施なし</p> <p>18競技 150事業</p> <p>15競技 53事業</p> <p>1競技 1事業</p> <p>16競技 39事業</p> <p>5競技 9事業</p> <p>8競技 16事業</p> <p>36人 2団体</p> <p>実施なし</p> <p>1競技 4事業</p> <p>実施なし</p> <p>1競技 1事業</p> <p>2競技 2事業</p> <p>4競技 7事業</p> <p>55人</p> <p>11競技 29事業</p> <p>実施なし</p> <p>12競技 38事業</p> <p>10競技 22事業</p> <p>実施なし</p> <p>10競技 25事業</p> <p>3競技 5事業</p> <p>7競技 14事業</p> <p>5競技 19事業</p> <p>12競技 23事業</p> <p>延べ 616人</p>	<p>117人</p> <p>18競技 72事業</p> <p>2競技 3事業</p> <p>20競技 147事業</p> <p>15競技 65事業</p> <p>2競技 3事業</p> <p>16競技 33事業</p> <p>4競技 12事業</p> <p>7競技 14事業</p> <p>33人 2団体</p> <p>実施なし</p> <p>1競技 4事業</p> <p>実施なし</p> <p>1競技 1事業</p> <p>1競技 1事業</p> <p>3競技 7事業</p> <p>52人</p> <p>10競技 27事業</p> <p>実施なし</p> <p>9競技 36事業</p> <p>9競技 24事業</p> <p>実施なし</p> <p>9競技 18事業</p> <p>5競技 7事業</p> <p>6競技 10事業</p> <p>10競技 26事業</p> <p>14競技 22事業</p>	<p>強化支援 77人</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>強化支援</p> <p>実施なし</p> <p>強化支援 53人</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>計画集約中</p> <p>強化支援</p> <p>実施なし</p>		

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成30年度主な施策の効果（成果・課題）

○オリンピック部分【85,000】体育課

・支援対象 東京オリンピック実施競技（33 競技）

対象競技	陸上競技、水泳、レスリング、柔道、サッカー、バレーボール、体操、ボクシング、バドミントン、フェンシング、テニス、アーチェリー、ウエイトリフティング、射撃、セーリング、ゴルフ、ボート、バスケットボール、卓球、トライアスロン、ハンドボール、自転車競技、7人制ラグビー、ホッケー、カヌー、馬術、近代五種、テコンドー、野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン	
推薦対象年齢	2018年度：16歳～26歳	
対象者	条件	①千葉県内の中学、高校、大学、スポーツクラブに在籍する生徒又は学生で、競技団体から推薦された者 ②千葉県内に在住する者で競技団体から推薦された者 ③千葉県内の中学校・高校を卒業した者で競技団体から推薦された者 ④競技団体から推薦があり、競技力向上推進本部が特に認めた者
	選手・団体	[特別強化支援]競技団体推薦基準 ①各世代の日本代表選手 ②全国大会上位者（個人3位以上） ③過去の成績や競技記録等が全国大会上位者と同等であると認められる者
	指導者	対象選手を継続的に指導している指導者

・支援内容①海外遠征 ②国際大会の視察 ③国内遠征 ④強化合宿 ⑤選手・チームの招聘
⑥競技用具の整備 ⑦外部指導者の活用 ⑧医科学サポート
⑨競技力向上推進本部が特に認めた事業

○パラリンピック部分【30,000】体育課・障害者福祉推進課共管事業

・支援対象 東京パラリンピック実施競技（22 競技）

対象競技	アーチェリー、自転車競技、射撃、柔道、水泳、陸上競技、馬術、ボート、卓球、カヌー、トライアスロン、パワーリフティング、バドミントン、テコンドー、視覚障害者5人制サッカー、シッティングバレーボール、ボッチャ、ゴールボール、車いすテニス、車椅子バスケットボール、車いすフェンシング、車いすラグビー	
推薦対象年齢	2018年度：12歳以上	
強化対象者	条件	※オリンピック部分の①～③は同じ ④千葉県内に所在する競技団体等から推薦された学校又は団体（基礎強化支援のみ） ⑤競技団体等から推薦があり、千葉県障がい者スポーツ協会が特に認めた者
	選手・団体	[基礎強化支援]競技団体推薦基準 ① 県選抜代表選手 ② 県大会上位者（個人、団体2位以上） ③ 団体（過去5年間において全国大会8位以上の学校又は団体） [特別強化支援]競技団体推薦基準 ① 各世代の日本代表選手 ② 全国大会上位者（個人3位以上） ③ 過去の成績や競技記録等が全国大会上位者と同等であると認められる者
	指導者	対象選手を継続的に指導している指導者
掘り起こし	対象事業：競技団体が企画した競技体験会の実施 資 質：障害者スポーツ選手のうち、優れた能力を有し、継続してパラリンピック競技に取り組む意志を持つ者	

・支援内容①海外遠征 ②国際大会の視察 ③国内遠征 ④強化合宿 ⑤選手・チームの招聘
⑥競技用具の整備 ⑦外部指導者の活用 ⑧合同練習会・合同合宿 ⑨医科学サポート
⑩千葉県障がい者スポーツ協会が特に認めた事業

【オリンピック部分】

○基礎強化支援

開催年に向けて、特に出場が期待される選手に重点化したことから廃止しました。

○特別強化支援

特別強化指定選手に対して、①海外遠征 ②国際大会の視察 ③国内遠征 ④強化合宿 ⑤選手・チームの招聘 ⑥競技用具の整備 ⑦外部指導者活用 ⑧医・科学サポートの各事業を支援し、オリンピック出場に向けた強化を行いました。

【パラリンピック部分】

○基礎強化支援

基礎強化指定選手・指定団体に対して、①国際大会等の視察 ②競技用具の整備 ③選手・チームの招聘 ④外部指導者活用 ⑤合同練習会・合同合宿の各事業における支援を行い、パラリンピックを目指す高い意欲や意識を育てました。

○特別強化支援

特別強化指定選手に対して、①海外遠征 ②国際大会の視察 ③国内遠征 ④強化合宿 ⑤選手・チームの招聘 ⑥競技用具の整備 ⑦外部指導者活用 ⑧医・科学サポートの各事業を支援し、パラリンピック出場に向けた強化を行いました。

【共通】

○強化指定証授与式

選手の意識高揚を図り、競技力向上に寄与できるように、強化指定選手を対象に指定証授与式を開催しました。

○強化指定選手の活躍

国内大会はもとより、世界選手権やアジア競技大会等の国際大会においても、金メダル獲得や入賞など多くの強化指定選手が活躍しました。

○強化指定選手変更

平成30年度は、追加・取消等の選手変更はありませんでした。

令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

【100,000】体育課

対象競技	<p>[東京オリンピック実施競技（33 競技）]※オリンピック種目に限る。 陸上競技、水泳、レスリング、柔道、サッカー、バレーボール、体操、ボクシング、バドミントン、フェンシング、テニス、アーチェリー、ウエイトリフティング、射撃、セーリング、ゴルフ、ボート、バスケットボール、卓球、トライアスロン、ハンドボール、自転車競技、7人制ラグビー、ホッケー、カヌー、馬術、近代五種、テコンドー、野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン</p> <p>[東京パラリンピック実施競技（22 競技）]※パラリンピック種目に限る。 アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャ、カヌー、自転車競技、馬術、5人制サッカー、ゴールボール、柔道、パワーリフティング、ボート、射撃、シッティングバレーボール、水泳、卓球、テコンドー、トライアスロン、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、車いすラグビー、車いすテニス</p>
推薦対象年齢	年齢制限なし（東京オリンピック・パラリンピックに出場可能な年齢の者）
対象者	<p>範囲</p> <p>①千葉県内の学校等、スポーツクラブ、団体に在籍する選手で競技団体から推薦された者 ②千葉県内に在住する者で競技団体から推薦された者 ③千葉県内の学校等を卒業した選手で競技団体から推薦された者 ④競技団体から推薦があり、競技力向上推進本部が特に認めた者 ※学校等とは、「学校教育法」第1条に規定する学校及び専修学校、各種学校とする。</p>
	<p>競技レベル 競技団体推薦基準</p> <p>①日本代表 ②中央競技団体強化指定選手 ③日本選手権等国内最上位大会での入賞</p>
	<p>指導者等</p> <p>選手を継続的に指導する監督・コーチ等及び強化活動に必要とされる介助者・練習パートナー等</p>
対象事業	<p>①外部指導者活用 コーチ、トレーナー等を活用する。</p> <p>②医・科学サポート 運動能力測定の実施や医療費の助成を行う。</p> <p>③競技用具の整備 対象者が使用する競技用具を購入又は修理する。</p> <p>④海外遠征 対象者を大会出場や練習ゲーム等を行うため、強豪国へ派遣する。</p> <p>⑤国際大会の視察 対象者を国際大会の視察のため派遣する。</p> <p>⑥国内遠征 対象者をナショナルチーム選考会や全国大会等へ出場するため派遣する。</p> <p>⑦強化合宿 海外・国内において、強化合宿を実施する。</p> <p>⑧選手・チームの招聘 海外・国内のトップクラスの選手やチームを招聘し、大会や練習ゲームを実施する。</p> <p>⑨競技力向上推進本部が特に認めた事業</p>

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策2 スポーツを通じたネットワークの充実・拡大

目標・方向性（関連性）

スポーツを通じた地域の活力づくりを推進する

ア オリンピック・パラリンピック教育の推進（リンクA・C・F）

イ 積極的なスポーツ交流への参画（リンクC・F）

令和元年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<p>・オリンピック・パラリンピック教育の推進 (リンクA・B・C・D・Fと連携) 【62,000】 事前キャンプ・大会競技支援課</p> <p>【-】体育課</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催(5件) 7/24 千葉市、一宮町 8/25 千葉市 10/28 成田空港 11/29 旭市</p> <p>②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(11件)</p> <p>③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(7件)</p> <p>④競技団体と連携した学校訪問事業(3件)</p> <p>⑤JOC オリンピック教室の実施(6校)</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催(3件) 7/24 成田市、一宮町 8/25,26 千葉市 3/18 千葉市</p> <p>②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(11件)</p> <p>③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(7件)</p> <p>④競技団体と連携した学校訪問事業(12件)</p> <p>⑤JOC オリンピック教室の実施(6校)</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催</p> <p>②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催</p> <p>③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会</p> <p>④競技団体と連携した学校訪問事業</p> <p>⑤JOC オリンピック教室の実施(6校)</p>		
<p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業 【9,000】 教育政策課 教育立県推進室・企画班</p>	<p>・推進校 30 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・オリンピック・パラリンピック推進月間の実施</p> <p>・オリンピック・パラリンピック作品の募集</p>		
<p>・トップアスリート等活用事業 (再掲) 【700】競技スポーツ</p>	<p>18回 講師 52人 参加者 3,700人</p>	<p>17回 講師 46人 参加者 5,120人</p>	<p>20回 講師 55人 参加者 4,000人</p>		

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○オリンピック・パラリンピック教育の推進 【65,693】</p> <p>事前キャンプ・大会競技支援課 機運醸成・大会競技支援班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内開催オリンピック・パラリンピック競技の普及・振興イベントの実施 ・子どもたちとアスリートの交流 <p>本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技について、県内開催競技に対する理解を深めるとともに、競技人口の増加を図るため、競技団体等の協力の下、体験会やトップアスリートとの交流などの普及イベントを実施しました。（カウントダウンイベント、県民の日行事や大型商業施設等における競技紹介・体験イベント、パラリンピック競技普及の担い手育成、学校訪問等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内開催競技紹介番組の制作・放送及び映像の活用 <p>大会に向けた機運を高めるため、県内開催競技の紹介及び県内のオリパラ関連情報を発信する番組を制作・放送するとともに、その映像を編集して、動画配信やイベント等での上映、学校への配布を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JOC オリンピック教室の実施【一】 (リンク A と連携) 学校体育班連携 <p>2020 年に向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、県内の公立中学校において JOC オリンピック教室（※）を実施しました。</p> <p>（※）JOC オリンピック教室とは、オリンピアン（オリンピック出場経験のあるアスリート）が教師役となり、自身の様々な経験を通して、生徒たちにオリンピックの価値等を伝えるとともに、この価値がオリンピアンだけでなく、多くの人々が共有し、日常生活にも生かすことのできるものであることを、授業を通して学習してもらうプログラム。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピック教育の推進 【62,000】</p> <p>事前キャンプ・大会競技支援課 機運醸成・大会競技支援班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内開催オリンピック・パラリンピック競技の普及・振興イベントの実施 ・子どもたちとアスリートの交流 <p>本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技について、県内開催競技に対する理解を深めるとともに、競技人口の増加を図るため、競技団体等の協力の下、体験会やトップアスリートとの交流などの普及イベントを実施します。（カウントダウンイベント、県民の日行事や大型商業施設等における競技紹介・体験イベント、パラリンピック競技普及の担い手育成、学校訪問等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内開催競技観戦・応援の実施 <p>本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技で、本年度県内で開かれる国際大会を生徒・児童等が観戦・応援する事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JOC オリンピック教室の実施【一】 (リンク A と連携) 学校体育班連携 <p>2020 年に向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、県内の公立中学校において、JOC オリンピック教室（※）を実施します。</p> <p>（※）JOC オリンピック教室とは、オリンピアン（オリンピック出場経験のあるアスリート）が教師役となり、自身の様々な経験を通して、生徒たちにオリンピックの価値等を伝えるとともに、この価値がオリンピアンだけでなく、多くの人々が共有し、日常生活にも生かすことのできるものであることを、授業を通して学習してもらうプログラム。</p>

・オリンピック・パラリンピックを活用した
教育推進事業【9,000】

教育政策課・教育立県推進室・企画班

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくとともに、大会に向けた機運を醸成しました。

「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動

「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動

「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動

「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動

○トップアスリート等活用事業（再掲）

【700】競技スポーツ

・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を行いました。

・オリンピック・パラリンピックを活用した
教育推進事業【14,000】

教育政策課・教育立県推進室・企画班

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくとともに、大会に向けた機運を醸成します。

「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動

「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動

「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動

「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動

「オリンピック・パラリンピック推進月間」を設定し、県内すべての公立学校でオリパラ教育を実践します。

児童生徒の自主的なオリパラ教育を推進するため、夏季休業中に機運醸成のイラストやキャッチフレーズの作品募集を行います。

○トップアスリート等活用事業（再掲）

【700】競技スポーツ

・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を行います。

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策3 誰もが参加できるみんなのスポーツの推進

目標・方向性（関連性）

- 共生社会に向けたアプローチを推進する
- ア アスリートの活躍する場（リンクA・D）
- イ 共生社会実現への取組（リンクB・C）

令和元年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業【9,000】（再掲） 教育政策課・教育立県推進室・企画班 ・アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進 ・アスリートのキャリア支援 【一】競技スポーツ班 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班（リンクDと連携） ・スポーツを通じた障害のある子どもとない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課（リンクBと連携） ・総合型クラブの活用促進 【一】生涯スポーツ班（リンクB・Cと連携） ・障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材（コーディネーター）の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班（リンクB・Cと連携） 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進校 30 校を指定 ・セミナーを開催 ・報告会を開催 ・指導資料集の作成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進校 65 校を指定 ・セミナーを開催 ・報告会を開催 ・指導資料集の作成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進校 65 校を指定 ・セミナーを開催 ・報告会を開催 ・指導資料集の作成等 ・オリンピック・パラリンピック推進月間の実施 ・オリンピック・パラリンピック作品の募集 		
	矢切特別支援学校を研究指定して実践（再掲）	千葉特別支援学校、槇の実特別支援学校を研究指定して実践（再掲）	八日市場特別支援学校を研究指定して実践（再掲）		

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○オリンピック・パラリンピックを活用した 教育推進事業【9,000】（再掲） 教育政策課・教育立県推進室・企画班</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくとともに、大会に向けた機運を醸成しました。</p> <p>「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動 「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動 「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動 「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックを活用した 【14,000】教育推進事業（再掲） 教育政策課・教育立県推進室・企画班</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくとともに、大会に向けた機運を醸成します。</p> <p>「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動 「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動 「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動 「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動 「オリンピック・パラリンピック推進月間」を設定し、県内すべての公立学校でオリパラ教育を実践します。 児童生徒の自主的なオリパラ教育を推進するため、夏季休業中に機運醸成のイラストやキャッチフレーズの作品募集を行います。</p>
<p>○アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進 ○アスリートのキャリア支援 【一】競技スポーツ班 （リンクDと連携）</p> <p>県にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンや育成したアスリートの協力を得ながら地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校体育活動に対する支援・協力を行います。</p> <p>またアスリートが競技に取り組みながら、地域社会・企業の一員としても活躍できるよう支援します。</p>	<p>○アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進 ○アスリートのキャリア支援 【一】競技スポーツ班 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班 （リンクDと連携）</p> <p>県にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンや育成したアスリートの協力を得ながら地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校体育活動に対する支援・協力を行います。</p> <p>またアスリートが競技に取り組みながら、地域社会・企業の一員としても活躍できるよう支援します。</p>

<p>○スポーツを通じた障害のある子どもと ない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課 (リンク B と連携) (再掲)</p> <p>○総合型クラブの活用促進【一】生涯スポーツ 班 (リンク B・C と連携)</p> <p>○障害のある人ない人が共に楽しめる場を 作る人材 (コーディネーター) の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p>	<p>○スポーツを通じた障害のある子どもと ない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課 (リンク B と連携)</p> <p>○総合型クラブの活用促進【一】生涯スポーツ 班 (リンク B・C と連携)</p> <p>○障害のある人ない人が共に楽しめる場を 作る人材 (コーディネーター) の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p>
---	--